

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社 ブルーライン

②事業者情報

名称: 花園	種別: 障害者支援施設
代表者氏名: 川崎 国公	定員(利用人数): 140 (96) 名
〒 369-1246 所在地: 埼玉県深谷市小前田2691	TEL 048-584-2506

③総評

◇特に評価の高い点

(1) 【総合的な人事管理】

「期待する職員像」に付いては、法人として「元気」「優気」「根気」を持って自らの専門性の向上を図ることによって、利用者ニーズに的確に対応したサービスを提供して欲しい旨の内容を明示しています。人事基準に付いては、業績評価(目標管理)・能力評価各々に評価基準を持っており、内容に付いては職員に周知されています。年2回の業績評価に当たっては、評価面談により評価内容を伝え、又、職員の要望等も確認する機会として有効に利用されています。

(2) 【教育研修計画】

個別の職員の知識・技術水準・専門資格の取得状況等に付いては、研修担当により研修履歴簿が管理されています。新任職員に対しては、教育担当者によるOJTが行われ、標準的な実施方法を踏まえた教育がなされます。法人による教育体系が確立されており、研修規程に階層別研修・職種別研修・テーマ別研修等のカリキュラムが準備されています。外部研修への参加を含め、各人の教育研修計画が策定されており、それに基づく実績管理が行われています。

(3) 【地域との交流】

施設のスペースを開放して、地域の方々の色々な発表会(歌・踊り・大正琴等)の場として貸し出されています。深谷市と災害時の防災協定を締結しています。又、年度初めに地域住民を対象とした「救急救命講習会」を開催しているほか、防災訓練の際には車椅子講習会も開催しています。近隣の道の駅の協議会に参加しており、活動に協力すると共に、作品の販売も行っています。

◇特にコメントを要する点

(1) 【自己評価の有効的な活用】

年1回行われる自己評価に付いては、役付け会議の中で1項目毎、合議で吟味がなされまとめられています。その中から課題を抽出し、改善に結びつけると云う一番肝心な部分が不十分に感じます。やはり職員全体に情報提供され、周知の作業が行われるのであれば、共有意識の高揚や職場の一体感の醸成のチャンスではないでしょうか。残念に思われます。

(2) 【苦情解決の仕組】

苦情解決の仕組として、受付窓口申し出て、苦情解決責任者と共に解決に向けた検討をし、第三者委員は解決に付いての助言を行う旨の説明になっていますが、厚労省のガイドラインで求められた仕組の基本は、第三者委員を含め何処にでも苦情の申し出が可能な事、又、その連絡先が明記されている事が義務付けられています。この主旨を再確認・再認識して頂きたい、敢えて「b」評価としました。

(3) 【感染症対策】

感染症の流行時には対策委員会を立ち上げ対応していますが、一部を除き各種感染症別のマニュアルは準備されていません。やはり感染症毎にかなり違う対応が求められていますので、正しく理解して対応が諮れるような準備が肝要と思われます。看護師を中心に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等は開催されています。

④第三者評価結果に対する事業者のコメント

評価内容について、これまでも施設運営の継続的な改善に努めてきたが、その成果を改めて確認することができた。また、一方では、整備し実施している事業の中に、見落としていた点やシステムとしては未整備の点も見つかり、今後の改善に繋げていきたい。

評価項目に対する解釈について、一部に評価者との相違を感じる場所もあったが、異なる視点も含め、改善に活用できるものと認識している。

⑤各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙